



米国食肉輸出連合会は、日米の食肉業界の飛躍に貢献できるよう努力しております。

# Trader's Be&Po

米国食肉輸出連合会 (USMEF) <http://www.americanmeat.jp>

Volume 017 Nov 22, 2004

Trader's Be&Poはメールでもお届けします。ご希望の方は、下記にご記入の上、FAX返送してください。

お名前 様 メールアドレス @

**FAX番号 03-5542-2912**

「Trader's Be&Po」はインターネットでもご覧いただけます。  
ご希望の方は、下記URLからダウンロードしてください。  
<http://www.americanmeat.jp/publications/tnf.html>

★「Be&Po」とは、Beef(牛肉)とPork(豚肉)を合わせた言葉で、アメリカン・ミートがもたらす豊かな食の世界を表現しています。

## BSE関連ニュース

### ●フィリピン、米国牛肉輸入再開へ／台湾も再開へ前向き

フィリピン畜産事業局は、米国産牛肉の輸入解禁に同意した。フィリピン向けに輸出される牛肉は、いずれも30カ月齢以下の牛由来とし、米国農務省食品検査局(FSIS)の輸出要件目録に記載された条件を満たしていることが必要。

一方、台湾当局は10月の米国農務省ペン次官の訪台後、原則として輸入再開に合意したと伝えられている。今後は専門家を米国に派遣し、BSE関連対策実施の現状を視察し、輸入再開の是非を審議する。結果の発表時期と内容は現時点では不明だが、早ければ年内にも30カ月齢以下のボンレスビーフの輸入再開が予想される。

※USMEF&2004年11月8日 Cattle Buyers Weekly

## 米国食肉市場ニュース

### ～ 牛肉 ～

牛肉市況(11月1日～5日)

●週間と畜頭数：58.6万頭(前年比3.0%減)。

●肥育牛の取引価格(100ポンド[約45kg]当たり)：

主要5市場では、平均81.50ドル(前週比3.00ドル安)。

枝肉価格は平均129.10(同4.10ドル安)。

●牛肉価格：歩留まり等級3(YG3)のチョイスは129.04ドル(前週比8.30ドル安)。YG2～3のセレクトは122.02ドル(同8.15ドル安)。

オクラホマシティーにおける去勢牛の体重別、100ポンド(約45kg)当たりの価格(US\$)

体重(ポンド)	11月1日～11月5日
400～500	124.00～148.00
500～600	114.00～130.00
600～700(子牛)	108.00～118.75
600～700(若齢牛)	114.50～116.75
700～750(子牛)	104.00～105.00
700～800	111.00～115.50
800～875	111.00～115.00

※2004年11月5日 Cattle Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

### ～ 豚肉 ～

豚肉市況(11月1日～5日)

●週間と畜頭数：209.6万頭(前年比2.8%減)

●肉豚の現金取引価格：主要市場の価格は前週比2.25～5.50ドル安。枝肉も前週に比べ5.95～7.67ドル高。



米国食肉市場ニュース

～ 豚肉 ～

100ポンド(約45kg)当りの豚肉製品価格(11月5日/US\$)

主要市場における100ポンド(約45kg) 当たりの最高価格(US\$)

	11月5日
ペオリア	52.50
セントポール	56.00
スーフォールズ	56.00
ミズーリ中央部	49.50

185ポンド物(約83.5kg)の 枝肉平均価格(US\$)

	11月5日
東部トウモロコシ地帯	72.78
西部トウモロコシ地帯	77.11
アイオワ・ミネソタ	77.43
全 国	75.54

製品名	価 格 (前週比増減)	備 考
ロイン	103.09 (-1.01)	トリム1/4インチ
ボストン・バット	81.55 (-0.45)	トリム1/4インチ
ポークベリー	96.00 (+6.00)	14～16ポンド物 (約6.3～7.3kg)
ハム	81.00 (+2.18)	17～20ポンド物 (約7.7～9.1kg)

※2004年11月5日 Hog Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

セーフティー関連  
ニュース

●無線付き耳標を使った個体識別プログラム -ペンシルバニア州で

ペンシルバニア州農務省は、225頭の牛に無線機能をもった耳標を付け、個体識別システムのテストを実施している。これは疾病発生時の感染経路確認の迅速化を目的とする全国プロジェクトで、スキャナーバーで読みとったデータは、携帯用PCに無線で転送され、さらに疾病管理機関のデスクトップに送られる。農場、せり、処理・加工場など、生産から流通までの過程を移動する度にスキャンして一連の足取りを記録し、予防接種・受精・搾乳停止の時期など、6項目の情報にアクセス可能。最終的には、生産者、パッカー、動物性脂肪精製業者、せり関係者、獣医、業界団体などが情報を利用すると想定される。

費用は耳標が約\$2.5、携帯用PCは\$200～300、スキャナーバーは約\$1,200だが、今後普及すれば単価も下がると期待される。同様の技術はカナダ、ヨーロッパでもすでに導入されている。

ペンシルバニア州は、今年8月に米国農務省より61万5,000ドルの補助金を受けてテストを開始し、2005年7月までに州内全農場への普及を目指している。他にも29州が同様の補助金でテスト中。

※2004年11月4日 MayCattle.com

業界ニュース

●共和党勝利で牛肉業界に追い風

ブッシュ大統領再選、共和党議会勢力拡大という11月の選挙結果は、米国の食肉・畜産業界にとって追い風になるだろう。ブッシュ氏勝利で、業界を支える自由貿易、税の緩和、個人財産権に関する政策も継続される。議会での勝利と民主党上院院内総務ダッシュル氏(サウスダコタ州)の敗北は、カナダ牛の排除、原産国表示の義務化、パッカーの家畜保有禁止の支持派には打撃となっている。

米国農務省はカナダ問題についてまだ最終案を明らかにしていないが、共和党が両院で多数を占めることから、規定案の議会通過は容易だろう。また原産国表示の義務化やパッカーの家畜保有禁止は廃案になり、一方で日米牛肉貿易再開が早まる可能性がある。

人事面では、ブッシュ政権一期目から農務長官を務めるヴェネマン氏は、食品安全問題で消費者寄りの立場をとり、カナダ牛輸入再開では踏み誤りがあったとして業界指導部の支持を失っている模様。一期目は忠誠心の固い長官を揃えたが、二期目の後任は未定。

※2004年11月8日 Cattle Buyers Weekly



**業界ニュース**

●商品開発で研究担当シェフの増加

今後の食肉加工業界で重視される付加価値製品をヒットさせるには、社内シェフとフードテクノロジーリストを兼務する、研究開発要員としてのシェフが必要だと、シスコ社(食料品卸会社)調理事業本部長で研究担当シェフ協会会長を務めるシモラー氏は言う。食品製造業では、加工技術などの改善で品質が日々向上しているが、調理面でも同様の取り組みが求められる。最近では現役のシェフで食品科学の学位を取得した、一人二役の人材も増えている。つまり食品安全から健康・栄養、食品技術に渡る広い知識を持った人材が求められている。

同会長は、最近では食習慣・健康問題を反映して、特に脂肪、砂糖、塩といった原材料の代替品開発が進んでいて、本質的に健康に良い商品が増えていると述べている。

※2004年11月3日 Meatingplace.com

●USDA次官ムラノ氏退官

過去3年にわたり、米国農務省食品安全検査局(FSIS)次官を務めたムラノ氏は、12月3日付で退官し、新たにテキサスA&M大学機構農務担当副総長、同大学カレッジステーション校農学部学長、テキサス農事実験場長を兼務する。

在任中は、食品安全問題に科学的観点から取り組み、大規模な食肉リコールや米国初のBSE牛発見をきっかけとした、米国の食品安全政策の改革に関わった。キューバ出身の同氏は、同ポスト初のイスパニック系アメリカ人。

※2004年11月8日 Cattle Buyers Weekly

**USMEFニュース**

●USMEF定例総会ニューメキシコ州で開催

ニューメキシコ州アルバカーキで11月3日から5日間、米国食肉輸出連合会の定例総会が開催され、200人を超える家畜生産者団体、パッカー、穀物生産者団体代表者が参加した。今回はBSE関連の議題を中心として、海外事務所スタッフより市場動向の現状と今後の動向予測の報告があった。すでに貿易が再開されているメキシコ市場のほか、米国の最大市場である日本については、東京事務所の山本司、原田より、日本経済に与えるダメージの大きさや今後の活動計画の概略などの説明があった。参加会員の最大関心事は、日本への輸出再開時期であったが、日本国内の法整備や月齢の特定方法などの詳細にわたる輸入条件の内容が今後決定されることから、早期の再開はないとの見方が大勢を占めていた。ポーク市場については日本の現状報告のほか、外食に於けるチルドポークの認知と使用率の向上を目指す活動方針が明らかにされた。

この期間にあわせ、カンザスシティで3日に開催された農務省農業マーケティングサービス局によるBEV(牛肉輸出証明プログラム)の概略説明会がインターネットで二次元中継され、総会に参加していた企業関係者約30人もこれに参加した。背根神経節の具体的除去方法や、詳細な内容発表の時期に関する質問などもなされた。

**イベント情報**

●USMEF、『アメリカン・ポークで「豚の角煮」プロモーション』を開催

米国食肉輸出連合会(USMEF)は、アメリカン・ポークのおいしさをさらに知っていただくためキッコーマン株式会社とタイアップし、11月22日(月)から12月12日(日)まで、関東・東北・関西エリアの量販店(精肉売場・調味加工商品売場)にて以下のプロモーションを行います。

■プロモーション内容:

- ・精肉売場にてアメリカン・ポーク(バラ・ブロック)とキッコーマン対象商品の同時陳列
- ・チラシ上でのメニュー提案
- ・精肉売場および調味加工商品売場へのメニューカードの取り付け
- ・アメリカン・ポーク(バラ・ブロック)のパックにレシピシールを添付
- ・試食販売